

社内基幹システム診断

アフターコロナの時代に対応する方法の1つに、「ニューノーマル」という考え方が提唱されています。ビジネスの在り方や働き方が劇的に変化しました。業者任せにしていた社内システムを見える化して最適化してみませんか？

万が一の時に会社せず事業を継続する仕組みが急務となっています。そのためにも、現在ご利用の社内基幹システムの全体像を把握する必要があります。ご利用中の基幹システム（基幹系情報システム、会計ソフト、販売管理ソフト、などに係るソフトウェア、ハードウェア、ネットワーク）などの見える化を行います。

お問い合わせ

株式会社ドットアイ
TEL:050-7505-4858
<https://www.do-i.jp>

▶ ホームページ





C A S E : 事 例

基幹システムを実際に使用している現場から、「別のシステムでも同じような情報を入力しており重複は無駄ではないか」と指摘があった。

それぞれのシステムには担当者があるのだが、全体を把握している従業員がおらず困っていた。



基幹システムと言いつても、通常よくある分類として以下の5種類あります。

販売管理：見積、受注、仕入、出荷、返品

購買管理：見積依頼、発注、仕入、入荷、返品

債権管理：請求、入金

債務管理：支払確認、支払

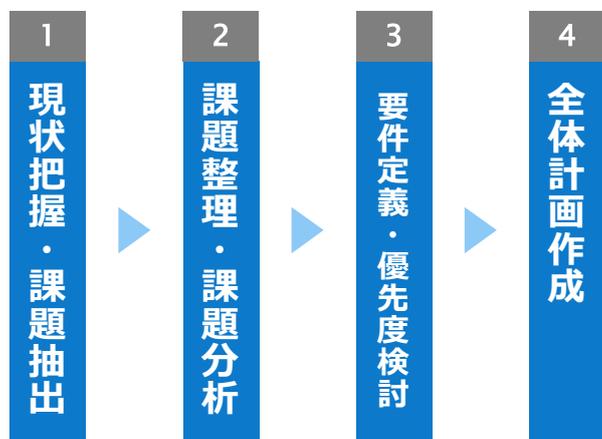
在庫管理：出庫、入庫、倉庫間移動、在庫引当、在庫補充、棚割、棚卸

それぞれの項目毎にどんなシステムが稼働しているのか、連携しているシステムがあるのかわからないかを調査し全体像の把握に努めました。

連携できるものは連携し、連携できないものはシステム再選定を視野に入れて社内プロジェクトをスタートとし一緒にMTGに参加してまいりました。

オンプレミスのシステムからクラウド化にシフトすることができ、それにより場所に捕らわれない仕事が可能となりニューノーマルに順応出来ました。

基幹システム診断のSTEP



お客様の業務状況や予算に応じて、改善案を段階的に無理なくご提案致します。
まずはお気軽にお問い合わせください！